

障がい児通所施設再編行動計画(案)

1. 計画の目的

本行動計画は、公共施設適正配置計画（以下「適正配置計画」という。）に基づき、障がい児通所施設の再編・再配置を進めるにあたり、諸課題を整理するとともに、課題解決に向けて市等が取り組む具体的な方策やスケジュール等を示し、市民・地域など関係者と情報の共有化を図り、合意形成のもと、着実に公共施設の再編・再配置を進めることを目的とします。

2. 障がい児通所施設再編の対応方針及び対象施設の状況の再検証

適正配置計画第2章「施設分類ごとの適正配置方針」に示すように、心身の発達に支援を必要とする児童及び保護者に対し、日常生活における基本動作の習得や集団での適応性の向上を目的に、早期発見早期療育を行う拠点施設として南北2か所に設置する発達支援センターを対象とし、再編・再配置の対応を検討します。

このため、障がい児の適切な療育支援の場としての視点から、対象施設の状況等について再検証します。

(1) 対象施設の状況（詳細は、適正配置計画153～156ページを参照してください。）

施設名	地域	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	今後の方針		運営形態 職員配置 (人)	1日平均 利用者数 /利用定員 (人)
				機能	施設		
① 北部子ども発達支援センター たんぽぽ	白鳥	6	198.74	継続	継続	直営 正2・会3	7/10
② 南部子ども発達支援センター ひまわり	八幡	7	82.80 (692.29)	継続	継続	直営 正4・会3	7/10

※公共施設適正配置計画より。築年数は、2019年（令和元年）現在
※運営形態・職員配置の（正）は正職員、（会）は会計年度任用職員

(2) 郡上市公共施設適正配置計画における対応方針

南北の発達支援センターの利用日・利用時間は、年末年始と土日祝祭日を除く毎日、9時から17時まで、市直営で実施しています。2施設の管理運営費の合計は、人件費を含め69,200千円、児童発達支援事業収入として42,600千円の収入があります。

両センターは、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業所であり、児童保護者との契約のもと通所支援を行っています。未就学児に対して日常生活における基本動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を実施する児童発達支援のほか、就学児に対して授業終了後又は休業日に、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進等を目的とした放課後等デイサービスを実施しています。また、両センターを拠点として、訪問支援専門員が市内の保育所等を訪問し、対象児が他の児童との集団生活への適応のための専門的な支援サービスを行う保育所等訪問支援を行っています。さらに、これら福祉サービスを適切に利用できるよう利用計画の作成や見直し、指定事業者との連絡調整を行う相談支援事業も行っていきます。これらは、途切れない発達支援として重要な施策・事業であり、今後も継続する必要があります。

こうしたことから、適正配置計画では、障がい児通所支援施設について以下の考え方を基本として、全体的な再編・再配置を進めることとしています。

妊娠・出産・育児・子育てなど、就学前後の子育て世代に対する途切れない相談支援体制の整備が進められるなかで、健診等により得られた様々な情報を一元化し、幼稚園・保育園をはじめとした関係機関と連携を図りながら、「気になる子ども」を含めた途切れない発達支援の実施機関として重要な役割を果たしており、今後も継続します。

(3) 対象施設の利用実態及び課題（令和元年度）

後述する「3. 再編・再配置のシナリオとスケジュール」において、個々の施設の最終的な再編の取組みの妥当性を検証するため、現時点（令和元年度実績）における各障がい児通所支援施設で実施している施策や事業内容、及び課題について整理します。

① 北部子ども発達支援センター たんぽぽ

施設状況・施設構成	鉄骨造平屋建て、延床面積 198 m ² 。平成 25 年 3 月に新耐震基準で建設。 事務室、相談室、指導室 2、多目的ホールで構成。
開設日・開設時間	年末年始と土・日、祝祭日を除く毎日、9 時 00 分～17 時 00 分
管理運営	正規職員 2 人、会計年度職員 3 人を配置し、人件費を含む管理運営費 31,906 千円を支出し、児童発達支援事業収入 13,048 千円を収入。
実施内容	主として、ことばの遅れや気になる行動のある児童に対し、日常生活における基本動作や技能の習得、集団適応に向けた支援を行っています。
利用状況	年間の開所日は約 235 日、登録利用者は 54 人。一日の平均通所児数は 7 人（定員 10 人）で、年間の延べ利用件数は約 1,240 件となっています。
課題等	建築から 6 年経過しており、計画的な改修が必要です。

② 南部子ども発達支援センター ひまわり

施設状況・施設構成	鉄骨造平屋建て、共有スペースを含め延床面積 277 m ² 。平成 24 年 2 月新耐震基準で建設。 事務室、相談室、指導室 3、多目的ホールで構成。
開設日・開設時間	年末年始と土・日、祝祭日を除く毎日、9 時 00 分～17 時 00 分
管理運営	正規職員 4 人、会計年度職員 3 人を配置し、人件費を含む管理運営費 37,313 千円を支出し、児童発達支援事業収入 29,584 千円を収入。
実施内容	主として、ことばの遅れや気になる行動のある児童に対し、日常生活における基本動作や技能の習得、集団適応に向けた支援を行っています。
利用状況	年間の開所日は約 235 日、登録利用者は 62 人。一日の平均通所児数は 7 人（定員 10 人）で、年間の延べ利用件数は約 1,500 件となっています。
課題等	建築から 7 年経過しており、計画的な改修が必要です。

3. 各施設の再編・再配置のシナリオとスケジュール

適正配置計画における対応方針と対象施設の再検証の状況から、郡上市の障がい児通所支援施設のあり方にかかる検討課題を以下のポイントで整理し、全体的な方向性を示したうえで、個々の建物の具体的な再編・再配置のシナリオを示します。

(1) 全体的な方向性について

支援が必要な子どもの早期発見・早期療養を行う、途切れの無い発達支援の仕組みづくりの機能は今後も継続します。

なお、適正配置計画において、現行の管理運営体制（市直営）を維持することとしていますが、近隣自治体では、社会福祉法人やNPO法人などが運営を行っている事例もあることから、事業内容や運営体制を調査するなど、適切な発達支援サービスの提供を前提に効率的・効果的な管理運営手法についても検討することとします。

(2) 全体の方向性を踏まえた各施設個別の課題と取組みについて

- ① 北部子ども発達支援センター たんぽぽ
- ② 南部子ども発達支援センター ひまわり

【適正配置計画における対応方針】

- 途切れない発達支援の仕組みづくりの拠点施設として継続します。
- 施設は、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 管理運営については、現行の体制を継続します。

【行動計画】

- 障がい児の療育支援の機能は今後も継続し、施設は計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 管理運営については、他の自治体の状況を精査し、民間活力の活用を含め管理運営手法について検討します。

(3) スケジュール（ロードマップ）

施設名等		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度から R10 年度
全体事項	保全計画の策定	→→ 保全計画の策定			→→→→→ 計画に基づく対応
	管理運営手法の検討		→→ 他自治体の事例調査・検討		→→→→→ 調査・検討結果に基づく対応
① 北部子ども発達支援センター たんぽぽ	② 南部子ども発達支援センター ひまわり	→→→→→→→→ 障がい児療育機能の継続			

4. 再編・再配置に向けて

「3. 各施設の再編・再配置のシナリオとスケジュール」に示すように、各施設の具体的な取り組みと工程表を示しましたが、この再編・再配置を進めていくうえでは、以下の課題への対応と同時に、地域住民・関係者との合意形成が重要となります。

諸課題に対する対応の方向性とスケジュールを示すとともに、上記に記載のロードマップに基づき、以下のように関係団体等と協議のうえ合意形成を図り、令和10年度までの再編を図ります。

(1) 諸課題への対応

① 保全計画の策定

市が保有する施設で、今後も維持する施設のうち、法定耐用年数を超えて使用する施設については、予防保全を含め、計画的な改修を行い、長寿命化を図ることとしています。

この長寿命化を図るための大規模な改修には多くの財源が必要となることから、劣化度の調査や改修の内容、実施時期などを明確にした郡上市公共施設保全計画（仮称）を、令和4年度までに策定します。

② 管理運営手法の検討

社会福祉法人やNPO法人など民間活力を活用して運営している他自治体の事例調査を行い、適切な発達支援サービスの提供を前提に効果的・効率的な管理運営手法のあり方について令和5年度までに検討するとともに、調査結果に基づき対応します。

参考：庁内検討体制

項目	分野	課名
責任課 (取りまとめ)	全体調整、地域・団体等調整、 施設運営管理統括	社会福祉課 子ども発達支援センター 健康課
主幹課 (施設利用)		
関係課 (全体調整)	財政計画、予算	総務部 財政課
	公共施設管理	総務部 契約管財課
	譲渡の条件設定	企画課(必要に応じて公共施設アドバイザー)
	適正配置計画の進捗管理	企画課(必要に応じて公共施設アドバイザー)